

「FinalCode®」Ver.5、1月11日より グローバルで同時提供開始 ～お客様の用途・導入規模や形態に合わせて選べる2つのエディションを用意～

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下デジタルアーツ、証券コード 2326)は、企業・官公庁向けパスワード不要のファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode(ファイナルコード)」Ver.5を、1月11日よりグローバルで同時に提供開始いたします。

今回の「FinalCode」Ver.5では、お客様の用途・導入規模や形態に併せて選べる2つのエディションとして、シンプルな運用で確かなセキュリティを実現する“Business Edition(クラウド版)”と、「FinalCode」Ver.5の新機能を全てご利用可能な“Enterprise Edition(クラウド版/オンプレミス版)”を提供いたします。

「FinalCode」はユーザーインターフェースの表示言語を日・英2ヶ国語の表示言語から選択でき、現在、24カ国で利用実績があります。「FinalCode」Ver.5からグローバルのIRM市場でも通用する機能と品質を兼ね備えたことで、日本だけでなく、海外での導入実績もより拡大することを期待しています。

デジタルアーツは、「Made in Japan のソリューションをグローバルスタンダードにする」というビジョンを掲げ、日本だけでなくグローバルレベルで活躍する企業や各国の官公庁に対し、長きに渡り未解決だったファイル共有におけるセキュリティの問題を解決する唯一のソリューションとして「FinalCode」を提案し、今後も売上獲得に努めてまいります。

【「FinalCode」Ver.5の主な特徴】

■共有フォルダーの自動暗号化

ファイルサーバーに集約したファイルを、ユーザーに意識させずに自動で暗号化します。

■社内でも社外でもボーダーレスに守る

社外に「FinalCode」ファイルのまま渡せるので、手元を離れた後もアクセスログを確認し、リモート削除も可能です。

■社内へのセキュリティガバナンス

組織定義やユーザー権限を柔軟に設計できるので、社内セキュリティガバナンスを導入できます。

【「FinalCode」Ver.5 製品エディションの主な特徴】

■Business Edition(クラウド版)

シンプルな運用で確かなセキュリティを実現します。

・暗号化 ・ログ管理 ・リモート権限管理 ・ローカルフォルダー自動暗号化機能

■Enterprise Edition(クラウド版/オンプレミス版)

「FinalCode」Ver.5の新機能を全てご利用いただけます。

・Business Editionの全機能 ・共有フォルダーの自動暗号化 ・組織階層の設定 ・ユーザー権限のカスタム設定

【「FinalCode」Ver.5の新機能紹介ページ】

<http://www.finalcode.com/jp/lp/05/>

【「FinalCode」Ver.5の米国版プレスリリース】

<http://finalcode.com/en/company/finalcode-5-extends-best-in-class-file-collaboration-security-for-accelerated-time-to-value/>

PRESS RELEASE

【「FinalCode」Ver.5 の製品エディション別比較表】

導入形態	FinalCode Ver.5 Business Edition		FinalCode Ver.5 Enterprise Edition	
	SaaS(クラウド版)		SaaS(クラウド版)	VA(オンプレミス版)
使用料 <small>※購入されるライセンス数により価格テーブルをご用意しております。</small>	¥2,000/ライセンス/月<年間契約>		¥3,600/ライセンス/月<年間契約>	
最低購入ライセンス数	10ライセンス		50ライセンス	
購入ライセンス単位	1ライセンス		1ライセンス	
1 ファイルに設定可能な権限セット数	2 権限セット / ファイル		5 権限セット / ファイル	
1 ファイルに設定可能な閲覧者数上限値*1	50 メールアドレス / 権限セット		100 メールアドレス / 権限セット	
ローカルフォルダー自動暗号化機能*2	✓ (最大5フォルダー)			
共有フォルダー自動暗号化モジュール	-		✓	
組織階層数の上限値	1 階層		10 階層	
利用できるユーザータイプ	5 種類の基本ユーザータイプ*3 から選択		5 種類の基本ユーザータイプから選択(自由にカスタマイズが可能)	
AD/LDAP 連携によるメールアドレスの検索支援機能*4	✓			
AD/LDAP 連携による閲覧者のグループ指定*5	-		-	✓
FinalCode API*6	-		-	✓
IP 制限設定*7	-		✓	
デバイス制限設定*8	-		✓	
統合ログ管理連携	-		✓	
オフライン閲覧機能	有償オプション (¥500,000/年)			
CAD ファイル暗号化・閲覧	有償オプション (¥500/ライセンス/月)<年間契約>			

*1:ドメインやメールリスト等で閲覧者を指定した場合は、当該ドメイン、メールリストを1とカウントします *2: ネットワークドライブを割り当てることにより、当該ネットワークドライブ下のフォルダーについて自動暗号化設定が可能です *3: 管理者、監査者、標準ユーザー、制限ユーザー、閲覧ユーザー *4: 「FinalCode Client」での暗号化設定時、アドレス帳検索が可能になります *5: テンプレート等での閲覧者指定時、セキュリティグループやOUで指定することが可能になります *6: Ver.5.0ではSaaSには対応しておりません。SaaSへの対応は、2016年内のマイナーバージョンアップにて実施予定です *7: 暗号化ファイルを閲覧できるデバイスのIPアドレスを制限することができる機能です *8: 「FinalCode Client/Reader」を利用できるデバイスを、そのデバイスのOSの種別およびMACアドレスから指定できる機能です

■ **「FinalCode」について** <http://www.finalcode.com/jp/>

「FinalCode」はファイル暗号化・追跡ソリューション(ファイル暗号化ソフト)です。ファイル単位で指定した人やグループのみが閲覧できるように制限できるため、仮にファイルが流出しても中の情報は漏洩しません。また、いつでもリモートで権限変更や一括消去ができるため、ファイルが手元を離れた後も管理し続けることができます。しかも社外に暗号化したままファイルを渡す時でも、社外のユーザーに費用はかかりません。自社の重要な情報資産を社内から社外までボーダーレスにコントロールすることができる「FinalCode」は、様々な情報漏洩リスクにさらされる企業・組織に安心を提供します。

■ **デジタルアーツについて** <http://www.daj.jp>

デジタルアーツは、フィルタリング技術を核に、情報セキュリティ事業を展開する企業です。製品の企画・開発・販売・サポートまでを一貫して行い、国産初の Web フィルタリングソフトを市場に出したメーカーならではの付加価値を提供しています。また、フィルタリング製品の根幹を支える国内最大級の Web フィルタリングデータベースと、世界 27 の国と地域で特許を取得した技術力が高く評価されています。国内でトップシェアを誇る Web フィルタリングソフトとして、家庭および個人向け「i-FILTER」・企業向け「i-FILTER ブラウザー&クラウド」を提供する他、企業向けとして電子メールセキュリティソフト「m-FILTER」、クライアント型電子メール誤送信防止ソフト「m-FILTER MailAdviser」、純国産のセキュア・プロキシ・アプライアンス製品「D-SPA」、ファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode」を提供しています。

PRESS RELEASE

- ※ デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER、m-FILTER/m-FILTER MailFilter/m-FILTER Archive/m-FILTER Anti-Spam/m-FILTER File Scan、D-SPA はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
 - ※ FinalCode はデジタルアーツグループの登録商標です。
 - ※ その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
-